

PRESS RELEASE

2014年10月31日
株式会社三菱総合研究所

2014年7-9月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より11月17日（月）に公表予定の2014年7-9月期のGDP速報（1次QE）について予測を行った。

2014年7-9月期	実質GDP	季節調整済前期比	+0.5%	（年率 +2.0%）
	名目GDP	季節調整済前期比	+0.3%	（年率 +1.4%）

2014年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.5%（年率+2.0%）と2四半期ぶりのプラス成長を予測する。消費税増税後の大幅なマイナス成長から持ち直すが、その回復ペースは鈍いとみられる。

消費は、増税後の反動は和らぎつつあるものの、実質所得の減少や天候不順が回復ペースを鈍らせた可能性が高い。住宅投資は、増税後の反動が続いており2四半期連続の減少を見込む。一方、企業の投資意欲は依然として強く、設備投資は2四半期ぶりの増加を予想する。公的固定資本形成も、建設人材不足による進捗の遅れはみられるものの、14年度予算の執行前倒しの効果などから3四半期ぶりの増加を見込む。

輸出は、2四半期ぶりの増加を見込むが、欧米向けが低調に推移しており、横ばい圏内にとどまるであろう。輸入も、内需の緩やかな回復を背景に小幅プラスを見込む。ネットの外需寄与度はほぼゼロを予想する。

表 2014年7-9月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比（%）		2013年		2014年	
		10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 予測
実質GDP		▲0.1	1.5	▲1.8	0.5
	季調済前期比年率	(▲0.5)	(6.0)	(▲7.1)	(2.0)
民間最終消費		0.4	2.0	▲5.1	0.9
民間住宅投資		2.4	2.0	▲10.4	▲3.9
民間企業設備投資		1.0	7.8	▲5.1	0.9
民間在庫	寄与度	▲0.1	▲0.5	1.4	▲0.2
政府最終消費		0.2	▲0.2	0.1	0.2
公的固定資本形成		1.4	▲2.5	▲0.5	3.1
財・サービス輸出		0.3	6.5	▲0.5	0.7
財・サービス輸入		3.7	6.4	▲5.6	0.6
内需	寄与度	0.5	1.7	▲2.9	0.5
民需	寄与度	0.3	1.8	▲2.9	0.3
公需	寄与度	0.1	▲0.2	0.0	0.2
外需	寄与度	▲0.6	▲0.2	1.1	0.0
名目GDP		0.2	1.6	▲0.2	0.3
	季調済前期比年率	(0.9)	(6.4)	(▲0.7)	(1.4)
GDPデフレーター	前年同期比	▲0.4	▲0.1	2.0	1.9
国内需要デフレーター	前年同期比	0.5	0.6	2.4	2.3

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。
表中の実績値は、2014年4-6月期2次QEに基づく。シャド一部分が今回の予測値。
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
政策・経済研究センター 森重彰浩 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp
広報部 峰尾 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。